

# 東海・東南海・南海地震について、考えよう！

日時／平成27年3月3日(火) 14:00~15:25 会場／中区役所ホール(地下) 主催／栄東・名城・栄西支部



講師 川崎 浩司氏

## 防災対策に関する事業所アンケート

「自然は過去の習慣に忠実である」。戦前の物理学者・随筆家 寺田寅彦の名言である。

それゆえに災害は必ずやってくる。

栄東支部長の辻本昌孝氏は、3年前の川崎教授の講演で、東本大震災の巨大津波の心配より木曾三川の体積層で作られた濃尾平野が液状化、堤防が決壊し海拔0メートルの広大な地域が長い期間ドロ沼になることを知り、改めて定期的な防災活動の実施を呼びかけた。

庄内川沿いの住民が避難経路として、土手を走って逃げるといふこれまでの防災計画の見直しも必要である。

歓楽街と繁華街が多数存在する栄地域は、外来者も極めて多いことから、災害の拡大や帰宅困難者の対応などが地域の問題点となっている。

一方、阪神・淡路大震災や人命救助、避難誘導や避難生活のサポートなどの一連の過程で、事業所が地域のなかで様々な救援活動を展開している。

今回の合同防災講演会では「防災対策に関する事業所アンケート」を実施して、日頃から事業所と連携して、災害時の人命を減少と迅速な復興に役立てることにした。

- ①町内会の加入と積極的な防災活動
- ②自社の防災体制の問題点
- ③行政・地域コミュニティとの関わり方
- ④支援の要望事項



司会 占部 憲一氏



主催者代表あいさつ 辻本 昌孝氏



謝辞 服部 信一郎氏



講師／(株)ハイドロソフト技術研究所・執行役員兼研究開発センター長 名城大学特任教授、熊本大学客員教授 川崎 浩司氏



和歌山県有田郡広川町役場前の「稲むらの火」の銅像

## 「稲むらの火」の教訓

映像とスライドによる講演は、津波の基礎知識、伝播特性、地震の基礎知識から、「中区の巨大災害」に特化した津波浸水の予測、震度・液状化危険の予測、内水・外水氾濫の予測まで、さながら大学の防災学の研究発表を聴講しているような内容であったが、安政南海地震の「稲むらの火」の逸話は、災害から守る地域コミュニティの重要性を改めて実感させられた。

●  
「これはただごとではない」

紀州藩（和歌山県有田郡広川町）海辺の高台に住む庄屋の五兵衛は、地震の長くゆったりとしたゆれ方と、うなるような地鳴りでそう思った。海を見ると波が沖へ沖へと動き、みるまに海岸の広い砂原や黒い岩底が現れた。

このままでは、四百人の命が村もろとも呑み込まれてしまうと大きな松明を手に自分の畑の稲むらに火をつけた。

ふもとの村人たちは「火事だ。庄屋さんの家が燃えている」と急いで山手へ駆け出した。

五兵衛は、集まって来る老若男女を一人一人数えた。振り返って見ると、巨大な津波にえぐられた村は跡形もなく消えていた。

●  
講演後の質疑応答では、「高層ビルに勤務中の避難方法と非常食の備蓄について」の質問に「よく言う机の下は、オフィスの備品をすべて固定することは不可能ですし、机が移動することもあり、必ずしも安全とは言えません。頭を守るために身近にヘルメットを用意することが肝心です。備蓄は数日分は必要です。また地下街は安全と思われがちですが、先日、名駅の地下街が浸水で大混乱しました」と問題点を指摘して、講師は日頃の防災訓練と緊急時の連絡体制、自分を守る意識と冷静な対応が被害を少なくするとアドバイスした。



質疑応答 正木 利和氏



## 浪曲一直線

日時／平成27年2月17日(火) 18:00~19:30 会場／名古屋クレストンホテル8F会議室 講師／浪曲師 春野 恵子さん



浪曲師 春野 恵子さん



### 浪曲師の「ケイコ先生」

浪花節は、聴く人に映像を浮かべさせ、創造力を育む力を持つ大衆芸能として親しまれてきたが、テレビの普及と経済成長の影響で衰退し、時折NHKのEテレで放送される古典芸能となってしまった。

半世紀の沈黙を破ったのが、若手女流浪曲師の春野恵子さん。彼女は、民放テレビのバラエティー番組「進め！電波少年」で、受験生「坂本ちゃん」を教える東京大学教育学部を卒業した美人家庭教師「ケイコ先生」を演じて茶の間の人気者となった人である。

春野恵子さんは、テレビタレントとして漫然と過ごし悩んでいたころ、落語・講談などの演芸に興味を持ち、浪曲の奥深い世界に引き込まれた。

なかでも三味線の伴奏で、物語りや登場人物の思いを歌う「節」と、語りの「啖呵」を織りまぜる「浪曲」は、時代劇とミュージカルを足して割った世界として、彼女の心に強く響いた。

平成15年(2003)、上方浪曲界重鎮の二代目春野百合子に弟子入り、「一生かけて取り組める、やりたいものが見つかった」と大阪に移り住み修行を重ねた。

平成18年(2006)初舞台。国立文楽劇場「上方演芸特選会」、浪曲ライブ「春野恵子のROKYOKU ROCK YOU!」「春野恵子のカフェde浪曲」など企画・公演。



開会あいさつ 服部 伸一氏



謝辞 橋本 祐次氏



平成24年（2012）には、大阪市が未来の大阪文化を担う人材に贈る「咲くやこの花賞」大衆芸能部門を受賞し、翌年本邦初の英語浪曲を披露するなど、ニューヨーク・アモイ・ベルリンなど海外公演を成功させている。

公演のかたわら、プロ野球交流戦で国歌独唱やFM全国放送 BIG SPECIALのパーソナリティー、ラジオ大阪 TOP POP MUSIC「浪曲POP偉人伝」コーナーのストーリーテラーと大活躍である。

## 銭湯とラジオの浪曲

浪花節と聞けば、戦後のラジオから流れた二代目広沢虎造の清水次郎長外伝。チンチンに熱い銭湯の湯船で、「旅～ゆけばあ～駿河の里に茶の香り～」唸るじい様の背中<sup>の</sup>真っ赤に茹で上がった倶利伽羅紋々<sup>（刺青）</sup>。子ども心に「大人って、すごいや」と感心していた。「王将」の村田英雄、「東京五輪音頭」の三波春夫も浪曲師であった。

改めて調べてみると、浪曲は江戸末期山伏修験者に芸能化された祭文語り<sup>さいもん</sup>とそれまでの説教節が融合して生まれた日本独自の大衆芸能である。

現在の形に完成させたのは、明治時代に登場した桃中軒雲右衛門で、台本はあっても譜面はない。浪花節を読むという表現もある。舞台上上がる浪曲師は和服

姿であり、正装として特に袴を多く用いる。

舞台の中央の金屏風を背景に、その前に腰の高さぐらいの小さめのテーブルを置き、その上に大漁旗のような華麗な柄の特製のテーブル掛けがかけてある。演者の後ろには背もたれの長い椅子があるが、多くは立ちながら公演する。

演目は、庶民的な義理人情や情愛など人間的な物語を演じることが多く、赤穂義士伝・清水次郎長伝・国定忠次・臉の母などがある。

## 待ってました！ たっぷり！

「浪曲一直線」と題して登壇した春野恵子さんは、和服が似合い、以前にも増して美しく輝いていた。

浪曲の歴史を紐解き、この道を選んだ経緯を述べ、圧倒的な声量で、“何が何にして何とやら～～”、三味線とテンポの良い七五調の語り口をレクチャーして、浪花節を聴くマナーを指導する。

「待ってました！ たっぷり！」

全員がこの掛け声をマスターした後、命懸けの花火師の親子と夫婦の人情話「両国夫婦花火」が開演した。

“百聞は一見に如かず”迫力満点であった。

# 税と酒はハードボイルドに

日時／平成27年2月18日(水) 18:30~20:00 会場／クレストンホテル9F



講師 名古屋中税務署長 伊藤 時光氏



## 前代未聞。3度の謝罪会見

名古屋の地酒で利き酒を楽しみながら、税の知識を深めよう！ 青年部会のこの企画に、快く応じていただいた伊藤署長に感謝したい。

講師は岐阜県恵那市（旧恵那郡山岡町）出身。ふるさととは女城主の岩村町、大正村の明智町に挟まれた自然が豊かな山里で、特産品として海藻のテングサを原料にした寒天が知られている。

名古屋国税局採用後、愛知・岐阜県の税務署での法人関係、国税局の人事課・総務課を経て、直前の国税局課税第二部の次長では、大型の法人調査を行う資料調査課の陣頭指揮と、改正された消費税対応と重責を担われてきた。

経歴の紹介で、地域格差の実態を知ることができた。世田谷税務署で副署長をされた時代、既に公示制度は廃止になっているが、当時納税額一千万円以上の納税者数が世田谷署（管内人口30万人）の人数と岐阜県7つの税務署（管内人口200万人）の合計数と同じほどもあったと聞いて驚かされた。

所得隠しの内部告発は、税務署・マスコミへの投書、最近ではネットの書き込みが多いそうだ。

一方、国税局広報室長時には税務署職員による不祥事が相次ぎ、「テレビカメラと報道記者を前に、3度も謝罪会見をしたのは自分くらい」と体験談と対策を披露した。

万一、青年部会の仲間が謝罪会見（お詫びの会見）をすることになったときのリスク対策。

①逃げるな ②隠すな ③嘘をつくな

テレビ会見では、真ん中に責任者、左右に質問に対応できる人・連絡係の3人で臨む。

肝心なことは、会見を通じて広く国民の皆様へ謝罪するという姿勢（気持ち）が最も重要で、その場限りで記者やテレビカメラに頭を下げればよいという気持ちでは、やらない方がまし。会見場では両サイドに人を配置して、テレビカメラをブロックする。カメラが後ろに回ると緊張感が増し、平常心を失うそうだ。

関西老舗の料亭の謝罪会見で、母親が息子にこそこそと耳打ちする映像を思い出すが、3度も謝罪会見した講師の家族の気持ちはいかばかりか。

講師のスリムで優しい雰囲気からは想像できないが、リーダーとして内に秘めた信念と行動力には驚かされた。

来年1月にスタートするマイナンバー制度について特色が述べられた。

この10月から国民一人ひとりに12桁のマイナンバーが通知されるが、この制度は住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤である。

講師／名古屋中税務署長 伊藤 時光氏



利き酒のコップ 吟醸酒、純米酒、本醸造酒

※3月9日から上戸彩さんとウサギのマイナンバーTVCMが全国でオンエア。

## 朝ドラ〈マッサン〉・スナイパー〈ゴルゴ13〉

お酒と税務署の関係は、財務省設置法第19条に定めた「酒類業の健全な発達を図るとともに、醸造技術の研究、品質の確保や安全性の確保に努める」にあり、歴史的にも長い。明治後半、日露戦争のころは税収の4割を占めていた（現在3%）。

北海道余市のウイスキー造りの朝ドラ「マッサン」の頃の酒税は、それまでの酒税がお酒を造った時点で徴収した制度（造石税）が出荷時（蔵出し税）に改められた。

アメリカ映画「アンタッチャブル（手出しできない奴ら）」は、シカゴの暗黒街のボスと恐れられていたアル・カポネを、酒の密売で得た莫大な無申告の利益（ちなみに1年間で、アメリカの国家予算の5%に匹敵）を脱税の罪で裁いた。捕まえたのは、アメリカ財務省酒類取締局のエリオット・ネスとタッグを組んだ内国歳入庁（税務署）職員であった。

「ゴルゴ13」は、劇画マンガの草分け的なヒーローである。昭和43年（1968）にさいとう・たかをによって執筆され、現在も連載中である。

ゴルゴ13ことデューク東郷は、超一流のスナイパー

（暗殺者）で、依頼を受けたらどんな困難な場面でも遠く離れた所から百発百中で相手を仕留める。報酬はスイスの銀行口座に振り込ませている。

スイスの銀行は、極めて守秘義務が堅く、どこの誰がどんな預金をしようと一切明らかにしないことで知られていた。犯罪や脱税で得たお金をマネーロンダリング（資金洗浄）できる国や地域をタックスヘイブン（租税回避地）と呼んでいるが、平成19年（2007）世界金融危機の前後から、アメリカやドイツを筆頭にG20各国がスイスの銀行に圧力を掛け、情報開示が進んでいるようだ。

「最近のゴルゴ13には報酬の支払いシーンが出てこない。もっとも、彼が日本の居住者かどうかも気になるところです」。マニアックな講師の指摘が面白い。

講演では、お酒の酒類と製法の話も紹介され、税率についての解説もあったが、「酒」の語源が興味深いので紹介する。

漢和辞典で酉の字を見ると、「酒」のつくりで、通称「さげづくり」とか「とりへん」とも称する。鳥と区別して暦の「とり」とも称する。「酉」の字体は、口のすぼまった酒壺の形の象形文字からきているとあるようだ。したがって「酒」の字は、漢和辞典では、サンズイではなく「酉」にある。

## 健康寿命百歳をめざして

日時／平成27年2月9日(月) 11:00～13:30 会場／名古屋東急ホテル2階 日本料理なだ万 講師／特定非営利活動法人LET'S食の絆 顧問 五十嵐 福代さん



### 健康で長生きの秘訣は、毎日の食にあり

2月9日(月)、名古屋東急ホテル2階の「なだ万」にて、「健康寿命百歳をめざして」とありがたいお題の、特定非営利活動（NPO）法人LET'S食の絆顧問の五十嵐福代様の健康講座に参加しました。

健康で長生きの秘訣は、毎日の食にあり

主食（米・パンなどの炭水化物）主菜（肉・魚などのタンパク質・脂肪）副菜（野菜類などのビタミン・ミネラル）で栄養バランスを取り、1日に必要な食材の量は、自分の手のひら（手ばかり）が目安です。

食事を正しく食べれば優しくなれる。しかし自分が健康でないと出来ないとのこと。

そう、「すべてわかっています」と言いたいところだけれど、今までなかなか実行できなかったのが現実です。

腹八分を心がけ、適度な運動も大切と覚えておいてください。

皆さん。健康寿命百歳をめざして頑張りましょう。

report／広報委員 橋本 早苗



#### ■五十嵐 福代さんプロフィール

昭和8年（1933）福井県生まれ  
 昭和28年（1953）名古屋市立女子短期大学生生活科卒業  
 平成5年（1993）東京大学医学部保険学科保険学博士授与  
 平成18年（2006）NPO法人 LET'S食の絆設立 理事長  
 平成26年（2014）同理事長退任、顧問就任  
 平成27年（2015）NPO法人 食と健康実践研究所 代表

# 新しいお仲間です

※平成27年4月15日までの入会分（敬称略）

| 支部名 | 会社名                  | 代表者名    | 住所                           | 営業種別            |
|-----|----------------------|---------|------------------------------|-----------------|
| 名城  | A・P・S(株)             | 林 廣 志   | 中区丸の内3-11-7                  | ペットフード製造・販売     |
| 名城  | (株)三河屋               | 伊 藤 彰 記 | 中区丸の内2-13-22                 | 情報サービス          |
| 名城  | (有)べんざん調剤薬局          | 田 中 如 以 | 中区丸の内2-6-10 堀尾商店ビル1F         | 調剤薬局            |
| 名城  | 合同会社オサディア            | 芳 賀 絹 代 | 中区丸の内2-14-32 ライオンズシティ丸の内1201 | コンサルティング業       |
| 名城  | 日本ビジネスブレイン(株)        | 森 下 茂   | 中区丸の内3-20-20 チサンマンション丸の内第三   | 経営コンサルタント       |
| 御園  | 日本事務処理サービス(株)        | 山 下 久 雄 | 中区錦1-19-25 名古屋第一ビル・アネックス6F   | ソフトウェア・情報処理サービス |
| 御園  | (株)総合資産管理            | 小 磯 秀 貴 | 中区錦2-11-13 長者町トランジットビル3F     | 不動産業            |
| 栄西  | (株)スタジオ21            | 松 田 康 之 | 中区栄2-2-23 アーク白川公園ビル7F        | インテリアデザイン       |
| 栄東  | (有)エスアイシイ            | 池 田 悟   | 千種区今池5-5-3 シティコーポ仲田601       | 計算センター          |
| 栄東  | (株)オザワ事務所            | 小 澤 和 己 | 中区栄3-2-27 うを与ビル5B            | 不動産業            |
| 新栄  | (株)シンメイハウス           | 安 藤 大 介 | 中区新栄2-1-9                    | 不動産業            |
| 大須  | (株)デポ                | 山 下 優 鷹 | 中区大須3-2-15 栄南KTビル8F          | 広告代理            |
| 大須  | 名探不動産(株)             | 伊 藤 眞 人 | 中区大須4-13-32                  | 不動産業            |
| 橘   | (株)ハナイ               | 花 井 幹 夫 | 中区富士見町12-1                   | 道路安全機材の販売       |
| 錦三  | (株)ジョイントベンチャーカンパニー   | 杉 山 雄 治 | 中区錦3-7-13 ユーハウスビル10F         | 日用品小売・卸売        |
| 錦三  | (株)プロパティーマリッツ&パートナーズ | 永 田 昌 也 | 中区錦3-2-32                    | 不動産・建築          |

法人会会員企業にお勤めの皆様は、お一人からでも集団取扱の割安な保険料でご加入いただけます。

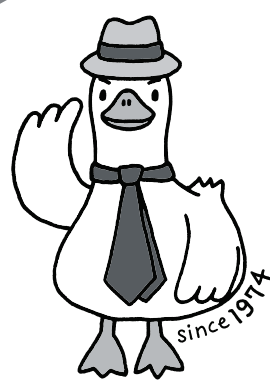
**No.1** アフラックは  
がん保険・医療保険  
契約件数 No.1  
平成25年度(インシアランス生命保険統計)



がんをきむ  
病気や  
ケガの  
備えに

— 法人会 —  
**ちゃんと応える  
医療保険**  
EVER

**新登場!!**



since 1974

心配な  
「がん」の  
備えに

— 法人会 —  
**新 生きるための  
がん保険** Days

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

〈引受保険会社〉

**Aflac** アフラック  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

アフラック愛知総合支社

〒451-6029 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー29階

法人会フリーダイヤル ☎ 0120-876-505

※今後の対応は担当の募集代理店が行ないます。

AF法推-2014-0033-1412528 8月26日



「住吉の語り部となりたい」⑥

## 大人のマツザカヤ ぼくらのテレビ塔

料亭つたも主人・深田 正雄

今回は僕らの遊び場「丸栄」の思い出をお話しました。栄小学校の通学路から離れた南大津通りはヨソイキの街、特に大人についていく松坂屋さん(どういう訳か、この店だけ「さん」付で呼ぶのが慣わしでした)は特別の存在でありました。

白川幼稚園の頃から、良矩お祖父ちゃんに手を引かれて松坂屋さんに通う日々が思い出されます。カンガルーがシンボルのオリエンタル中村から、通りの両側にはアーケードがあり、楽しいお店がいっぱいありました。東側には守口漬大和屋さんの南、浪越軒の鬼まんじゅうとお汁粉、そして、幼稚園の同級生・裕子ちゃんのお母さんが作ってくれる大福の味が忘れられません。お店の左奥にある階段を上がり3階のアーケード屋根裏からの風景がチョット印象的でした。そして、スポーツ玉澤、うどん柳屋、婦人衣料の鈴丹、アジアの靴、ガス器具屋の前では、ライカのカメラを持った女性がパチパチ、お祖父ちゃんに住所を聞き、孫との写真を路上販売する商売が懐かしく思い出されます。(写真、参照)

そして、仲野無線、花長、日本画材の美早屋、タチソウ、桃源亭、岡本造花、風呂釜屋、岩田結納店…皆、繁盛していたようですね。

松坂屋に入ると玄関右の石造りの階段を下がったところにある理容店が正雄君の行きつけの床屋で椅子も豪華でしたが大理石の鏡は贅沢なヨーロッパ調でした。散髪代は子供80円也。

勿論、屋上には丸栄に倍する大規模な遊園地、階段を使った2基の滑り台を中心に遊具がいっぱいで

爺ちゃんの“デパブラ”を待ちつつ集まった近所の子供達と遊んでいました。

当時から、松坂屋さんは市民の文化への貢献も多く、イベント、展覧会、劇場での公演がいつも開催され、生活になくてはならない栄のシンボルでした。

爺ちゃん曰く、「これからは本町通りより、大津通りが賑やかになるぞ。本町衆は電車を通すことに反対したのが凋落の始まりだ！」明治末の共進博開催に伴い、電車の軌道開設により大津通りが拡幅され、松坂屋、中村呉服店も本町から移ってきたとのこと。

西側には、栄町角から松坂屋食品館、カワムラヤ百貨店、勸業銀行、中央相互銀行、一柳葬具店、布地・丸澤屋、ふとん杉野、カメラのヒダカヤ、雀をどり、大林堂、安藤七宝店、呉服の松下屋など名門専門店が軒を並べていましたが、妙香園の街に漂う「ほうじ茶の香り」が歩く人々に憩いを与えていました。

現在、三蔵通りZARA(元勸銀)となっている西隣には、葛茂のメインバンク名古屋信用金庫があり、裸電球と板張り床で靴を脱いで上がり、毎日売り上げの集金に来る営業担当が僕の子守役を仰せつかっていたようです。勿論、同金庫の子供預金第1号は深田正雄の筈です。大同無尽と合併した中京銀行の社史に掲載を依頼しなくてはなりませんね。

南に行く料亭蓬莱、漆器屋、氷屋志知さん、乳母車の東谷さん、そして、戦災で焼け残った閑所長屋をとおり、勝鬘寺北の「東海そろばん」狭い塾では学校帰りの子供達がひしめき合っていました。「ご破算で願いましたは」の帰りは寺の西、駄菓子屋で遊



松坂屋前：祖父と正雄君、  
街頭カメラ女性撮影



松坂屋屋上遊園地、電気自動車

び、そして、矢場公園で紙芝居、鬼ごっこをしていると日も暮れだす「栄・三丁目の夕日」良き時代でした。

南大津通りから、市電や両側のアーケードがなくなり、近年、商店街では積極的な町づくりへの取り組みがなされています。歩道の拡幅、街づくり協定に基づく建築セットバック（2.5m）規制、共同清掃、共聴システム、街路灯・イルミネーション、パナー、ケヤキ並木の景観維持、歩行者天国再開など、素晴らしい活動が栄地区全体をリードしています。

仲良しの専門店グループの指導者、故・澤木公義さん、杉野峯一郎さん、そして、今年3月25日ご逝去された栄ミナミ商店街連盟・勝田明会長のご尽力とご奮闘に改めて敬意を表したく思います。

栄の砂漠・久屋大通？子供頃は「地の果て…」、大きな空地の北にトンデモない鉄塔建設？台風が到来して倒れたら家の屋根までくるかと、子供ながら心配しておりました。完成したらとてもカッコいいタワーで、エレベーターは有料でしたが、チビっ子は階段で上がると無料でしたので、近所のガキどもと恐々フーフーと展望台まで登っておりました。

東側（現在の芸文センター）には、テニスコートがあり進駐軍ではなく、日本人がプレーしていたようで嬉しかった記憶があります。その南は、栄児童図書館3階建のレトロ調レンガビルで絵本や漫画がいっぱいで興奮、特に「少年ケニア」は金髪の女の子ケートに憧れ一気に読みました。建物は焼け残ったけど、進駐軍に接収されませんでした。

名古屋財界の重鎮、祖父の尊敬する矢田績氏が寄贈した公衆図書館は、平成6年に現在の西図書館建物に改築され、氏の胸像は2階庭園に佇みひっそりと図書館を見守っているようです。

そして、南には中央教会、鳶をからませた古風な建物がとても入りづらい感じで、やっと高校生になり、キリスト教系の女学生に案内され訳も分からず礼拝したのです。

広大な空地のど真中（現在のバスターミナル）の朝日生命ビルはなんと、引きずり工法で100mほど西



図書館設立大正14年当時、鈴木禎次設計



栄ローン  
テニス倶楽部



エンゼル球場

写真は名タイ昭和文庫③ ぼくらの名古屋テレビ塔より

に移転、現在の区役所ビルの前身です。後、角地に中日ビル完成が昭和41年、屋上の上にグルグル床が廻る回転レストランがランドマークとなりました。

空地の最南端はエンゼルパークと野球場、少年野球大会開催、名古屋まつり英傑行列集会場所、エンゼルは森永乳業のシンボルマークでベビーブーム乳幼児に粉末乳販売促進策でスポンサーになったとか??

そして、若宮通りと交差するあたり名古屋タイムズ社屋からは夜間に航空管制ライトが青、赤、黄色と気味悪く市内を照らしていたのが思い出されます。その南には、平屋の市営住宅がずらりと並び、若宮通りには違法建築のバラック小屋が林立しておりました。

100m道路の広大なる空地が徐々に整備され、久屋大通公園となりましたが、昭和50年代は「暴走族、麻薬密売、ホームレス」対策で、地元の対応は大変であったと聞いております。

最近では、セントラルパーク、オアシス21、テレビ塔リニューアル、そして、久屋大通発展会の充実など、新しい発想の街づくりモデルとなってまいりました。河村たかし市長が公園から道路を撤去して、「虎やライオンが走りまわる」NYセントラルパーク並みの癒しの場造りと夢が膨らんでまいりました。今年5月9-10日開催・9回目となる栄ミナミ音楽祭はテレビ塔を中心に南大津通りの歩行者天国や大須商店街と一体化したイベントを計画、今後の展開が楽しみになってきました。

<http://www.sakaeminami.com/ongakusai/>